

# 市長就任あいさつ 鹿角市長 児玉 一 市民から、移住者から、 企業から選ばれるまちへ



この度の市長選挙におきまして、市民の皆さまからの負託を受け、鹿角市長として4期目の重責を担わせていただくことになりました。引き続き、鹿角市の持続的発展へ向けた舵取り役を担わせていただく光栄と、その責任の重さを改めて痛感しております。皆さまの期待と信頼に応えられるよう使命感をもって、全力で市政の運営に努めてまいります。

## 鹿角市が目指すビジョン

現在進めている市の総合計画では、定住人口維持の要となる「産業力の強化」を最優先に掲げ、地域のヒトやモノを活かして地元企業が成長できる環境づくりや、稼げる観光体制の確立を進めるとともに、移住の促進と少子化対策の継続により、3年後の平成32年に

において、人口3万人の確保を目指しております。人口減少を止めることは容易なことではありませんが、この3万人という目標は本市のポテンシャルをもつてすれば実現不可能ではないと考えております。

## 共動による市政運営

これからのまちづくりは、行政の力だけでできるものではなく、鹿角市全体で一丸となつて、総合力を発揮して進めることが重要です。引き続き、共動の理念のもと、市民の皆様との信頼関係を大切にしながら、市政運営にあたつてまいりますので、今まで以上に市政へ参画していただき、ともに鹿角を未来へつなぐために、皆さまの温かいご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



初登庁の様子（6月27日）

## 児玉市長が掲げる5つの戦略

## 未来につなげる！

## 強い鹿角 やさしい鹿角

この度の選挙において、「未来につなげる！強い鹿角 やさしい鹿角」をスローガンに掲げ、その中で5つの戦略を皆さまにお約束しました。

今後の4年間は、人口減少が進む中でも人口構造の若返りを図り、持続性のある「まち」にしていくための大変重要な時期となります。この5つの戦略をもつて、「市民からも、移住者からも、そして企業からも選ばれるまち」を目指します。

### ①産業力を高める

農業では、市場性のある作物の導入や販路拡大支援などの経営サポートにより販売重視型農業の確立を推し進めます。観光では、地域ぐるみの観光推進体制の構築をはじめ、海外からの誘客、花輪はやしや歴史民俗資料館などを活かした「まちなか観光」の推進により稼げる観光を目指します。また、製造業などの地場産業においては、企業誘致のための産業団地の整備や、事業者同士の連携促進を図り、企業が成長できる環境づくりによって雇用の増加を目指します。



十和田インター近くに整備中の鹿角市産業団地

### ②賑わいと活気を生む

「大日堂舞楽」と「花輪はやし」の2つのユネスコ無形文化遺産を活かしたシティプロモーションの推進や、全国規模のスキー大会や駅伝大会の開催により、まちのブランド力を高めるとともに、スポーツ合宿の誘致や葛飾区との交流を通じて、交流人口を拡大していきます。



大日堂舞楽



花輪はやし

### ③人材力を高める

子どもたちの確かな学力と生きる力を育むとともに、産業分野での「ネクスト農（みのり）塾」や「産業活力塾」、地域分野での「鹿角GENKリーカレッジ」により、若手人材の育成を図ります。

### ④生き生きと暮らす

県内一高い出生率を維持するため、県内トップクラスの子育て支援を継続するほか、出会いの場づくりにより婚姻率の向上を図ります。

また、高齢者の健康づくりや介護予防を進めます。



きめ細やかな健診で子育てをサポート

### ⑤安全・安心を守る

鹿角花輪駅前広場の整備や老朽公営住宅の建て替え、光通信網未整備地域の解消のほか、救急医療向上のための高速道路への緊急流入路の設置、市内での産科医療の維持に向けた活動など、暮らしの利便性と安全性を確保します。



アルパスを利用した大学のスポーツ合宿で交流人口を拡大